

移動福祉美容車 そらいろ

過疎地循環を目指したコミュニティ型 移動福祉美容車の改造事業



商店が減少し、生活の利便性がなく「心の過疎」も問題となっている過疎地に対し、従来の移動美容に留まらずコミュニティ機能を付加した移動福祉美容車の新規改造を行った。新規車両によって過疎地を巡回しアンケート調査を行うとともに、スタッフのサービスや地域行政などとの連携方法を検討した。

過疎地へのコミュニティ活動という視点

当社は車両による移動美容サービスを行っている。被施術者である車椅子の高齢者や要介護者には、健常者とは大幅に異なる対応の必要性を感じ、2013年、経営革新計画の策定を通じ、体系的なマニュアルとビジュアルマニュアルを完成させた。

経営革新計画では「お客様の笑顔づくり」を経営理念として掲げ、各方面への社会貢献を考え、県内過疎地への巡回もテーマとして検討している。

従来から用いている1台目の車両は基本的な要件は満たしているものの、過疎地へ巡回するにはコミュニティ活動という視点からの改良が必要である。

従来からの「美容・理容のサービス」というカテゴリではなく、過疎地でのコミュニティ活動として、どういった貢献ができるのか、検討を行ってきたい。



営業エリア図

改造車両によって過疎地巡回し、アンケート調査

新規の移動福祉美容車は、1号車の危険箇所・不満箇所を踏まえ、安全性・快適性の向上、コミュニティスペースの設置など、さまざまな改良を検討し、1号車同様オシマ自工に製造を依頼した。

地域の行政、地元の商店などからの情報をもとに決定した過疎地を新規車両で巡回した。お客さまに無償で美容サービスを利用していただき、新車両の美容室内の快適性、車両の側面に設置したテントを活用してのコミュニティスペースを体感してもらった。お客さまには、コ

ミュニティスペースでお茶を飲み話をしながらアンケート調査に協力していただいた。アンケート調査は、快適性やスタッフの対応など全7項目。

お客さまとのコミュニケーションを通して、移動福祉美容車におけるスタッフのサービスについても検証した。基本的には当社品質マニュアルに則って行動したが、お客さまの喜んでいる様子を見て、サービス面には確信を抱くことができた。また、過疎地巡回時に存在を知らせるお知らせソングを製作した。



リフトの設置



安全性が向上したドア



LED蛍光灯の設置

快適性・安全性が大幅に向上し、 コミュニティスペースも好評

納車された新車両は、リフト、セーフティーバー、自動警告音などの安全性が向上したことが確認できた。また、1号車で最も苦勞した美容室内の空調面については、新車両では真夏でも20℃近くまで室温を下げる事ができ、さらに照明度アップなど、快適性向上に結びついた。

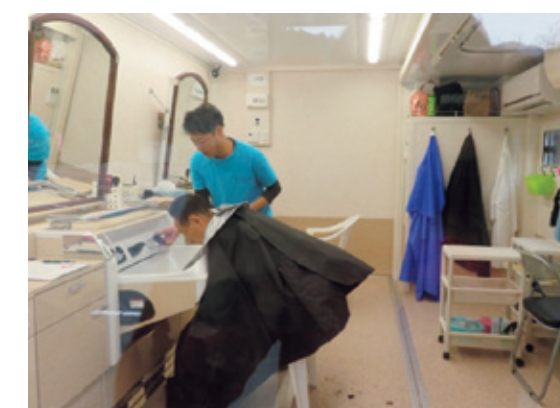
また、新たに設置した車外のコミュニティスペースには椅子とテーブルを用意。ここでのお茶とコミュニケーションを楽しみながら、50人にアンケート調査に協力してもらい、生活利便性の向上のため移動福祉美容車の必要性が分かった。

スタッフや他のお客さま同士で団らんを楽しみ、長い人で2時間近くも話をしていた。「美容室に連れていく手間が省け助かります」という高齢者の家族の意見も聞くことができた。

また、今回のプロジェクトを通じ、行政などとの連携も進み、巡回の場所を確保することができた。今後も支援が期待できる。



コミュニティスペースでのアンケートの様子



美容スペース

行政などとの連携を深め巡回地の拡大に努める

今回のプロジェクトを通じ、行政はもちろん商工会、観光協会、商店街などとの連携を深めることによって移動福祉美容車の認知度アップ、巡回地の拡大につなげられることが分かった。アンケート結果からも好感触を得ることができ、今後さらに市場調査・営業活動を続け、

巡回地の拡大に努めていく。

事業初年度は月1回巡回約20人程度で年間75万円程度の売り上げを見込むが、徐々に巡回回数、巡回地域を増やし2020年には約360万円ほどの売り上げを見込んでいる。



事業者名／移動福祉美容車 そらいろ

代表者名／代表 長山成行

設立年／2011(平成23)年

所在地／群馬県邑楽郡大泉町朝日5-4-24

電話番号／0276-62-6566

URL／sorairo-55.com

資本金額／—

従業員数／2人

業種／洗濯、理容、美容、浴場業